

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	豊かな心の育成事業	シート番号	038-046
担当部署名	教育委員会事務 局	学校教育 部	学校指導 課
		評価責任者(課長名)	後藤

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	学ぶ力・生きる力の育成	無
	2	事業開始年度	平成 27 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	教育基本法13条			
	4	関連計画	堺市教育大綱、第2期未来をつくる堺教育プラン			
5	事業実施の経緯	各学校における家庭・地域と連携した道徳教育、小・中学校での一貫した継続性のある道徳教育のさらなる充実や、教員一人ひとりの道徳の時間の指導力向上を図る必要があるため。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )					
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市立2中学校区・市立1中学校					
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	子どもの豊かな心の育成をめざし、小・中学校における道徳科の指導の充実を図るとともに、家庭・地域と連携した豊かな体験と道徳科を関連つけた道徳教育を推進する。 小中9年間を見通し、地域の実態や課題に応じた継続性のある道徳教育を実施することで、将来に夢をもち、郷土を愛する心を育む。					
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	実施中学校区においては、以下の内容に取り組む。 (1) 校区内の小中学校で道徳教育に関する連絡会をもち、道徳教育及び道徳科の充実に向けた研究及び実践 (2) 地域人材を講師に招いたり、保護者とともに道徳教育に関する活動をししたりするなど、家庭・地域と連携した道徳教育の推進 <家庭・地域と連携した取組の例> ① 中学校区道徳教育公開講座(教員対象)、中学校区子育て講座(保護者対象)等の開催 ② 豊かな心、思いやりや規範意識をはぐくむ活動の充実(花苗運動、地域清掃活動等) ③ 子どもが主体的な活動を充実し、自尊感情を高める取組の充実(児童会・生徒会活動等) ④ 子どもが自分のがんばりを実感でき、他者からも認められる経験の充実(校区縄跳び検定、漢字検定等) (3) 全市に向けた公開授業の実施を含む研究実践発表 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
10	直接実施以外の主な支出先							

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
事業費 (a)	千円	36,594	25,421	25,056	15,954	5,101	1,688	5,129	
主な事業費内訳	道徳教育推進指定校講師謝礼金	千円	2,507	363	2,507	385	1,656	316	1,495
	出張旅費	千円	1,885	889	1,218	692	1,425	263	2,005
	道徳教育推進指定校消耗品	千円	1,930	1,127	1,130	956	1,280	1,008	1,200
	道徳資料集「未来をひらく」冊子等作成経費	千円	28,000	22,782	14,500	13,559	0	0	0
	国・府支出金	千円	36,594	25,265	25,056	15,561	5,101	1,255	5,129
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他( )	千円							
一般財源	千円	0	156	0	393	0	433		
12 人件費 (b)	千円	3,936	3,936	4,100	4,100	4,050	4,050	4,100	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	40,530	29,357	29,156	20,054	9,151	5,738	9,229	

# 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	豊かな心の育成事業	シート番号	038-046
-------	-----------	-------	---------

## Ⅳ. 評価(測定・分析)

### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

### 事業の活動実績や成果

		令和元年度実績						
活動実績と成果	14	(活動実績) ・実施校において、「豊かな心の育成事業」について実施計画書を作成 ・実施校において、道徳教育の授業づくりに関する校内研修を実施 ・第14回小中一貫教育全国サミットIN堺において、実施校が「公開授業」を実施 ・第4回堺市道徳教育研究大会において公開授業を実施 ・全国小学校道徳教育研究大会研究発表会への参加 ・実施校において、「豊かな心の育成事業」について実践報告書を作成						
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		堺市「子どもがのびる」学びの診断質問紙調査において「学校のみまりを守っている」と答えた児童生徒の割合	%	目標値	小90 中90	小90 中90	小90 中90	小90 中90
				実績値	小89.6 中92	小89.1 中92.9	小89.6 中93.7	
				達成率	小99% 中102%	小99% 中103%	小99 中104	
	算出方法・設定根拠など	豊かな心の育成に向けては、「規範意識の醸成」が求められている。						
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		堺市「子どもがのびる」学びの診断質問紙調査において「自分にはよいところがある」と答えた児童生徒の割合	%	目標値	小80 中70	小80 中70	小80 中70	小80 中70
				実績値	小77.9 中65.6	小77.6 中67.2	小79.6 中71.2	
				達成率	小97% 中93%	小97% 中96%	小99% 中101%	
算出方法・設定根拠など	豊かな心の育成に向けては、「自尊感情の高揚」が求められている。							

### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	実施校	校区	4	4	3
	②	上記①にかかる年間経費	千円	29,357	20,054	5,738
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	7,339,250	5,013,500	1,912,667
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

### 業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		<p>・本市の道徳教育の充実に向け、子どもの実態をふまえ、小中9年間を通した体系的な学びを積み重ねることができた。また、小中一貫教育全国サミットIN堺の道徳分科会において、堺市道徳教育研究会が研究成果を発表した。</p> <p>・道徳科を要として学校全体で組織的に道徳教育を推進したことにより、堺市「子どもがのびる」学びの診断質問紙調査において「自分にはよいところがある」と答えた児童生徒の割合が前年度を上回るなど改善傾向が見られた。</p>

**【分析のチェックポイント】**

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	豊かな心の育成事業	シート番号	038-046
-------	-----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 今年度、中止した研究大会を来年度実施予定。発表校においては来年度の研究大会の実践発表に向け、すでに研究実践を積み重ねていることから廃止はできない。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 堺市の道徳教育において、指導の充実、評価に関する研究等が必要なため、今年度中止することはできない。	<b>休止の場合の再開時期</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 実施校数を減らす	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 今年度の研究大会については中止。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他(                      )	理由・説明	・今年度、国の補助事業「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」が中止となった。 ・来年度以降は、国の制度を踏まえ、実施方法を検討する。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	・今年度は来年度の発表校のみを事業対象とし、事業を縮小して実施する。 ・来年度以降は、国の動向を踏まえ、事業のあり方を検討する。		